



— <宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃テーマ> —

南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

## 岐阜高山教務所だより

### 高 真宗公開講座のご案内（10/4）

飛騨御坊真宗教化センターでは、多くの方々に仏法に触れていただく機会となるよう、各団体の御協力で、真宗公開講座を開催しています。（会場：高山別院）

つきましては下記の通り開催いたしますので、有縁の方々とお誘いあわせのうえ、ご聴聞ください。

日時 2024年10月4日（金）午後2時から

講師 講義講師：四衢 亮氏（高山1組不遠寺住職）

声明講師：三島 大遵氏（高山1組真蓮寺住職）

講題 「報恩講のご和讃を学ぶ—信心に開く世界—」

※講義および同朋唱和練習の二部構成となります

参加費 500円

主催 高山1組真宗の会

### 岐 仏教公開講座のご案内（9/20）

仏法聴聞の場として、「仏教公開講座」が始まり、21年目を迎えました。

「生きるってどういうこと」を年間テーマとし、

「眼(まなこ)をひらく 心(こころ)をひらく」をサブテーマとして、第230回を開催いたします。

一人でも多くの有縁の同朋と共に、仏法聴聞の場に出遇っていただきますようご案内申し上げます。

日時 2024年9月20日（金）午後2時から

講師 平良 愛香氏（日本基督教団川和教会主任牧師）

講題 「LGBTが安心できる場所はすべての人が安心できる場所～僕がゲイで良かったこと」

会場 岐阜高山教務所講堂

聴講料 年間聴講券（5,000円）

当日券（500円）

#### 【先生からのメッセージ】

100人いれば100通りの性。あなたの性はなに色ですか。そんな問いを発しながら生きていくと、一人ひとりの違いがとても素敵なものであることに気がきます。けれど同時に、「わたしはその違いを踏みにつけてはいないか」ということにも気づかされます。

一人ひとりが大切にされる場所を、一緒に考えてみませんか。

## 敬 弔

ご生前のご遺徳を偲び、  
謹んで哀悼の意を表します。

益田組 永養寺 前坊守  
旭野 和子 様 7月11日命終

第9組 受法寺 住職  
國島 惠遠 様 7月27日命終

## 岐 今月のテレホン法話

テーマ

いのちの出会い「真実の声を」

TEL(058)265-0033

9月1日～末日

森 恒河 氏

(高山2組秋聲寺住職)

## 高山地区 青少幼年部会 備品貸し出しのご案内

飛騨御坊真宗教化センター青少幼年部会では、  
各寺での子ども会活動に資するため、ドミノやス  
トラックアウト、コルク銃等のゲーム用備品の貸し  
出しも行っています。使用をご希望の方はお気  
軽にお尋ねください。

お問い合わせは飛騨御坊真宗教化センター  
(高山教務支所 0577-32-0776 )まで



## 9月の主な行事

- 1日(日)[19時]第2組巡回[教務所]
- 2日(月)[16時]第1組巡回[教務所]
- 3日(火)[13時半]第12組巡回[浄念寺]
- 4日(水)[16時]児連会議[岐]
- 5日(木)[14時]「是施陀羅」問題に関する「教区説明会」[WEB]
- 6日(金)[19時]教化学研修室[岐]
- 7日(土)[14時]朝日高根組巡回[朝日支所]  
[16時]第11組巡回[丸福寿司]
- 8日(日)[14時]第14組巡回[郡上教会]
- 9日(月)[13時20分]第2組門徒会巡回[教務所]  
[14時]解放推進協議会公開学習会 [WEB]  
[16時]育成部会[岐]
- 10日(火)[14時]開頭部会[岐]  
[14時20分]第8組巡回[竹鼻別院]
- 11日(水)[13時半]サラナン[岐]  
[15時]寺院活性化支援室支援会議[岐]
- 12日(木)[13時半]第1組門徒会巡回[教務所]  
[15時]吉城組巡回[誓願寺]
- 13日(金)[14時]東海連区同推協代表者会議[岐]  
[14時]教区門徒戸数調査委員会[岐]
- 14日(土)[13時50分]第9組巡回[慶正寺]
- 17日(火)[13時45分]第5組巡回[竹鼻別院]  
[17時]声明講座[岐]
- 18日(水)[13時半]サラナン[岐]  
[19時]教化学研修室[岐]
- 19日(木)[13時半]第4組門徒会巡回[正蓮寺]
- 20日(金)[14時]仏教公開講座[岐]
- 21日(土)[16時]第10組巡回[光頭寺]
- 23日(月)教区門徒会真宗本廟奉仕団  
[15時半]清見組巡回[了徳寺]
- 25日(水)[15時]慶讃法要教化部会 [WEB]
- 26日(木)[19時]教化研究所[高]
- 27日(金)[14時]研修部会[岐]  
[14時]第3組門徒会巡回[教務所]

## 解放推進協議会公開学習会（9/9）

このたび、ハンセン病問題をライフワークにしている訓覇浩氏をお迎えし、学習会を開催します。高山集会から16年。戦前からの大谷派におけるハンセン病施策の歴史を踏まえつつ、謝罪からスタートした同朋会運動としてのハンセン病問題を、直近の課題を交えてお話いただきます。また、案内チラシでは掲載できませんでしたが、質疑応答後に高山集会を振り返っての対談も行う予定です。どうぞ有縁の方々を誘って、ご参加ください。

日時 2024年9月9日(月) 14時から17時まで

会場 高山教務支所 2F 研修室(〒506-0857 高山市鉄砲町 6)

※リモートで岐阜高山教務所でも受講いただけます。

講師 訓覇 浩 氏(三重教区金藏寺住職・元解放推進本部委員)

日程 13:30 受付

14:00 開会

14:15 講義(途中休憩有)

16:15 質疑応答、講師との対談

17:00 閉会

参加費 無料

その他 ご不明な点や、お問い合わせは高山教務支所(担当:中川 TEL:0577-32-0776)までお問合せください。

## 岐 声明講座（9/17）

このたび、声明講座を開催いたします。お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

日時 9月17日(火) 14時から16時30分まで

会場 岐阜高山教務所 2階 和室

内容 「偈文」

講師 上山 信乗 氏(第6組浄栄寺住職)

参加費 当日券500円

その他 事前申込不要

## 2024年度経常費御依頼早期完納・年末完納について

2024年度も、非常に厳しい社会状況ではありますが、引き続き経常費の募財奨励にお力添え賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。なお、各完納期日及び完納記念品は以下のとおりです。

①早期完納扱:2024年9月30日(月)

②年末完納扱:2025年1月20日(月)

③年度未完納扱:2025年6月30日(月)

④完納記念品【2023年度から完納記念品が岐阜地区と高山地区で統一されました。】

・早期完納(7/1~9/30):沈香(5,000円分)

・年末完納(10/1~1/20):月刊同朋(年間購読)

・年度未完納(1/21~6/30):月刊同朋(年間購読)

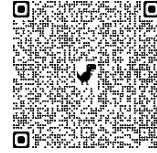
※月刊同朋(年間購読)は、2025年7月からの購読となります。

# 高 御坊子ども作品展（10/19～11/4）

高山別院では、毎年11月の報恩講に合わせて子ども作品展を開催しています。本堂内の壁を埋め尽くすように飾られる子どもたちの作品は、多くの方々を魅了しています。個人・塾、どちらも大歓迎ですので、高山地区の方はもちろん岐阜地区の方もぜひご出品ください！

詳細については飛騨御坊 HP または下記 QR コードにて要項をご確認ください。

【ひだご坊子ども作品展 要項ページ QR コード】→



# 高 高山別院報恩講への団体参拝について

岐阜地区より高山別院報恩講への団体参拝を予定しておりますので、是非ご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、高山地区から岐阜別院報恩講への団体参拝も今後計画していきます。詳細が決まりましたら改めてご連絡をさせていただきます。

期 日 11月2日(土)

参加費 5,000円

申込方法 同封の申込チラシを確認ください。

申込締切 10月7日(月)



## コラム 所員のつぶやき

夏の楽しみとは何かを考えてみる。BBQ やキャンプ、プール遊びなど、様々なアクティビティがあると思うが、私の楽しみは全国高等学校野球選手権大会、いわゆる「甲子園」だ。プロ野球のような成熟された、見ていて安心感のあるプレーではなく、まだどこかたどたどしいというか、成長途中のプレーをハラハラしながら観るのが面白い。

また、プロ野球はシーズン中何試合もあるので、一試合負けたところで次があるが、甲子園はそうはいかない。負けたらそこで、その球児達の夏が終わる。皆一試合でも多く甲子園でプレーしたいがために、切磋琢磨し、一試合一試合を真剣に、全力でプレーする。だから勝ったチームは全力で喜び、負けたチームは悔しくて、悔しくて、皆涙を流す。これこそまさに青春なのだと思う。私はもはや野球を観ているというよりか、高校球児たちの青春を観ているといっても過言ではない。そんな成長途中の高校球児たちが、日本の、いや世界の歴史を変えてしまうかもしれない。イチローやゴジラ松井、大谷翔平なども、元はといえば甲子園で活躍した球児だったのだから。真つすぐな信念、想像も及ばないほどのたゆわぬ努力によって世界最高峰の野球選手になれたのは言うまでもないが、そもそも彼らは高校球児のころからスターと呼ばれるようになるまで、「好きなことをやめなかった」のだ。

思い返せば、私にも好きなことはあった。それを続けていけば、もしかしたらその世界でのスターになれていたかもしれない。けれど私は、人生の成長過程のどこかで、誰かに教わってしまった「諦め方」によって、それを続けることを諦めてしまった。人間誰も「諦める」ということを知らずに生まれてきたはずなのに、大人になっていく過程の中で、諦めるということを経験するのだ。私は、なぜ諦めたのかはもう覚えてもいないが、いずれにせよそれは、「本当に心から好きなこと」ではなかったのだろう。

高校球児たちには、誰からも「諦め方」を教わることなく、好きなことに真つすぐであり続けて、世界中の人々に感動を与える、ひいては歴史を変えるような人になってほしい。



P.S 俺も歴史を変えるような偉人になりたいけど、  
どうせなんの取柄もない俺なんかじゃ無理だろうなあ。  
あ、ほらまたすぐに諦める。悪い癖だ。

木越